

令和4年10月7日

令和4年第3回神奈川県議会定例会

# 総務政策常任委員会報告資料

政 策 局



## 県内米軍基地を巡る状況について

### 1 在日米軍基地におけるPFOS等の安全管理について

#### (1) 横須賀基地内におけるPFOS等を含む排水の流出事案に係る分析結果 (3回目)

##### ア 情報提供概要

9月30日夜、防衛省から、横須賀基地内におけるPFOS等を含む排水の流出事案に係る分析結果（3回目※）について次のとおり、情報提供があった。

米側から以下の情報提供があった。

（米側の説明）

- ・ 8月29日に採水した横須賀基地の排水処理施設内の排水の分析結果（PFOS・PFOAの合算値）は以下のとおり  
【生活排水ライン】（出口） 8,592ng/L  
【産業排水ライン】（出口） 5,450ng/L
- ・ 11月1日までに排水処理施設に粒状活性炭フィルターを設置予定
- ・ 原因については引き続き調査中

また、30日、防衛省が排水処理施設周辺海域の海水を採取しており、今後分析を進める。

※ 1回目 5月9日採水、最大112ng/L

2回目 7月6日採水、最大112ng/L

##### イ 県の対応

9月30日、防衛省に対して、次のとおり口頭で要請した。

- ・ 早急な原因究明、抜本的な対策の実施
- ・ 粒状活性炭の設置等の当面の対策の早急な実施
- ・ 自治体による必要に応じた立入の実施への全面的な協力

#### (2) 県内米軍基地からの相次ぐPFOS等の流出に関する神奈川県基地関係 市連絡協議会※要請

##### ア 経緯

神奈川県基地関係縣市連絡協議会では、県内米軍基地からの相次ぐPFOS等の流出を受け、10月3日、外務省及び防衛省に要請を行った。

## イ 要請内容

- ・ 横須賀基地の流出についての早急な原因究明、汚染物質の徹底的な除去や施設の改修などの抜本的な対策の実施、対策が実現するまでの間の可能な限りの対策の早急な実施
  - ・ 厚木基地の流出について、流出量などの詳細の早急な公表、更なる流出が生じないような万全な対策の実施
  - ・ 現在、自治体が国に対して求めている環境補足協定に基づく立入調査の早急な実現
  - ・ 各基地のPFOS等を含む製品の早急な代替品への交換、交換までの間の漏出防止などの安全対策
  - ・ 各基地の早急な使用・保管状況等の精査、公表、PFOS等が残留している可能性がある場所の土壌・水質検査の実施
  - ・ 日米両国政府での基地内外のPFOS等の継続的な監視体制の構築、定期的な検査結果の公表
- ※ 神奈川県基地関係縣市連絡協議会は、県と基地に関係する8市で構成  
会長：神奈川県 副会長：横浜市、相模原市  
藤沢市、逗子市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市

### (3) 厚木基地内での泡消火薬剤の放出に係る立入調査

#### ア 経緯

9月24日、厚木基地内で泡消火薬剤が放出され、PFOS等を含む水が基地内の調整池等を経由し、蓼川に流出したことを受け、10月6日、環境補足協定に基づき、国（防衛省、外務省、環境省）、大和市及び綾瀬市とともに厚木基地への立入調査を行った。

#### イ 調査内容

厚木基地内の調整池を現地確認し、調整池におけるPFOS等を低減するための措置について、米側から説明を受けた。

また、調整池で採水を実施しており、今後、分析予定である。

## 2 県内米軍基地の新型コロナウイルス感染症にかかる感染者数の公表取りやめについて

### (1) 経緯

5月2日以降、外務省から、在日米軍の新型コロナウイルス感染者について、基地ごとの1週間の1日あたり平均新規感染者数の通知を受けていたが、9月30日、外務省から、次のとおり通知の取りやめについて米側か

ら説明を受けた旨の情報提供があった。

(米側の説明)

- ・ 最近の在日米軍の新型コロナ感染状況を踏まえ、30日の通知を最後に、感染者数の通知を取りやめる。
- ・ 日米合同委員会合意に基づき実施している米軍基地の医療機関と地元の保健所との間の情報共有は継続する。

## (2) 県の対応

9月30日、外務省に、今後の日本側の感染者数の把握方法の変更や感染状況によっては、すみやかに感染者数の通知を再開するよう口頭要請した。